

福祉環境委員会記録

令和5年9月1日（金）
11時47分～12時28分
第2委員会室

【委員】小川委員長、村木副委員長、村武委員、柳楽委員、岡本委員、川神委員
【執行部】

〔健康福祉部〕猪木迫健康福祉部長、河内地域福祉課長

〔市民生活部〕井上市民生活部長、小松環境課長

〔上下水道部〕佐々木上下水道部長、右田水道管理課長

【事務局】久保田書記

議題

- 1 所管事務調査事項について
 - (1) 令和5年度生活支援体制整備事業の取り組みについて
 - (2) マイナンバーカード導入に伴う市内医療機関の現状及び支援について
- 2 9月13日(水)の委員会審査日程等について
- 3 その他
- 4 【取組課題】就労支援を含めた障がい者支援について（委員間で協議）

9月13日(水)10時開催の福祉環境委員会における予定議題

- 1 陳情審査
 - (1) 陳情第102号 地方税統一QRコードを活用した地方税等納付方法の速やかな導入を求める陳情について
 - (2) 陳情第104号 QRコード納税の陳情について
- 2 議案第47号 浜田市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例について
- 3 執行部報告事項
- 4 所管事務調査
- 5 その他

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

[11 時 47 分 開議]

○小川委員長

ただいまより福祉環境委員会を開会する。出席委員は5名で定足数に達している。なお本日柳楽委員は欠席である。それではレジュメに沿って進めていく。

1 所管事務調査事項について

○小川委員長

9月13日水曜日に開催予定の当委員会における所管事務調査事項について、あらかじめ決めておきたい。執行部に説明等を求める必要のある所管の調査事項等があれば願います。

○村木副委員長

今回の地域井戸端会でも出た内容だが、地域でふくっぴーサロン等を担ってきた社会福祉協議会が令和5年度に、介護予防日常生活支援総合事業から撤退し直営になったことにより、住民サービスが低下しているとの声が各地域から出た。当委員会として調査をお願いしたいのだが、生活支援コーディネーターに代わる半年間の具体的な活動内容を資料として提供いただきたい。

○岡本委員

地元のまちづくりに関わっているが、福祉が手薄になっているとの実感がある。今までは福祉の側からいろいろな案内があったのに、それが無い。地域内で何かを計画しないとお願いできない形になっているのだろう。前は担当者からアクションがあり、地域でそれを広める動きをしていた。実際その辺はどう考えているか。これまでの活動状況を踏まえ、今後の方針もあればそれも示してほしい。

○小川委員長

今の岡本委員の内容は、執行部は大体分かるか。

○健康福祉部長

村木副委員長の言われた件と同じと扱って良いか。

○村木副委員長

はい。

○小川委員長

それに併せて聞きたいことはあるか。今年度から体制が変わり、市民から声が上がっている現状について話してもらえれば良いので、その点をお願いします。

ほかになければ進行を交代したい。

○村木副委員長

進行を交代する。

○小川委員長

邑南町の上田医院について文書をももらったが、マイナ保険証が導入されることに

よって新聞などでも、特に高齢の医師は、システム導入などのいろいろな準備や経費を考えたら、これをきっかけに閉院しようかといった話があり、全国で1割程度に及ぶとのことで、もしかしたら邑南町の閉院もそういう関係だったのかもしれないと感じている。前に聞いた話では、機器についてはいくらか補助があるとのことだが、導入以降の問題などを考えると負担が大きい。それに対する浜田市の医師会や開業医の意見を把握しているか。国のことなので分からない点もあろうが、所管事務として扱うのは難しいか。

○健康福祉部長

どういう回答を作れば良いのか。

○小川委員長

先生方は国の動きにも困ったものだと言っているのか、何とか対応しながらやっていかなければいけないと思っているのか。浜田市の医療現場の声は市に届いてないか。

○健康福祉部長

国の制度で導入することになっているので、苦情が市へ直接来るわけではない。医師会の中で話をされていると思う。邑南町の上田医院の先生は、自分がこのくらいの年齢になったら閉院といったことは考えておられたし、浜田市の医師会の先生方もある程度は自分の年齢や後継者のことを考えておられると思う。ただそれが、マイナ保険証の件が引き金になるかどうかは、聞いてみないと。

○小川委員長

聞きたいのは、国の制度がそうなったときにどれくらいの負担があり、国からの支援があるか。

○健康福祉部長

機器の導入については支援がある。

○小川委員長

電子カルテ導入の経費は各病院の負担になるのか。

○健康福祉部長

マイナンバーカードを導入したからといって電子カルテを導入するようと言われていたわけではないが、そのようにどんどんつながっていくので、きっかけということだろう。先生だけではなく事務の方々などにも関係があり、いろいろな事情があるので、全国的に、10%くらいは今回閉院ということになるのでは。それは当然医療機関だけでなく、調剤薬局もそうだし、いろいろなところが考えておられると思う。ただ、導入自体が悪いということではなく、電子カルテに変わって良い面もあると思う。

○小川委員長

例えば1割の方々が辞められることについては、時代の流れで仕方ないということなのかどうか。

○健康福祉部長

市としては先生に頑張っていたきたい。そのことをだけを理由に言われるのであれば、それはしっかり医師会の中で勉強してもらったり、可能なことをやってもらいたい、それだけという理由はないと思うので、所管事務調査では分かりにくい。

○小川委員長

今、国が考えているような制度を病院に導入するために、どのような負担が発生するか、現行制度内の仕組みのようなものが分かったり、その中で国の制度として支援できること、あるいは自治体として協力できることがあるかどうか含めて、今の医療体制を維持するための方向性というか。1割の方が辞めてしまわないような環境づくりと絡んで、負担部分をいくらかでも支援できれば、それによって継続される方がおられるかもしれないので、そのことについて聞きたい。

○村木副委員長

対応できそうだろうか。

○健康福祉部長

医師会に確認して、明確な回答は出てこないと思うが作成するということでのしいか。

○小川委員長

直接的に影響する部分があるのではないか、それが引き金にならないような方向性は大事ではないかと思った。

○村木副委員長

一応委員会の要求であることが大前提なので諮るが、小川委員長の言われた、マイナンバーカード導入に係る病院との関係、課題などを整理した資料の要求ということで、よろしいか。

(「異議なし」という声あり)

では、小川委員長の要求は委員会の要求ということでよろしく願います。進行を交代する。

○小川委員長

ほかに所管事務調査事項があれば願います。以上で良いか。

(「はい」という声あり)

では以上、2点について願います。

2 9月13日(水)の委員会審査日程等について

○小川委員長

まず陳情について、議題の順番は陳情者へ配慮し、これまで同様に委員会冒頭に陳情審査、採決を行い、議案審査とすることとしているのでご承知おき願う。なお、各委員会での陳情審査においては、請願・陳情の審査基準に基づいて各委員が判断することになる。判断基準は統一しているが、採択・不採択等は各委員で陳情書の趣旨をしっかりと踏まえた上で判断し、反対の場合はその理由を明確にしてほしい。反対理由は陳情者へ通知しホームページにも掲載される。また委員会で採択した陳情は、所管

事務調査も含め対応を検討することになる。その日の委員会で対応を協議したいのでよろしくお願いします。

当日の審査予定はレジュメの下枠に表示されている。まず陳情第102号の「地方税統一QRコードを活用した地方税等納付方法の速やかな導入を求める陳情」について、参考人の出席を求めるかどうかお諮りしたい。

(「不要」という声あり)

参考人の出席は求めないということとしたい。審査の参考のために執行部に確認しておきたいこと等はあるか。

(「なし」という声あり)

では次に陳情第104号について、参考人の出席を求めるか。

(「不要」という声あり)

参考人の出席は求めないということとしたい。なお、これも同じ内容なので執行部に確認しておきたいことについては、なしということをお願いしたい。

次に付託議案の審査を行うが、1件の市長提出議案について審査を行う。その後執行部からの報告事項、その後に所管事務調査の流れになる。執行部からの報告事項は今のところ5件と聞いている。執行部からは補足説明のみいただき質疑を行う流れになっているが、この点について先般の委員会でも少し議論したのは、視聴者が見て内容が分かりにくいのではということだった。コロナ対策でできるだけ会議時間を短縮する意図だったが、最低限簡単なポイントだけでも言ってもらって、その関連の質疑だと分かりやすくしたほうが良いのではないかという意見が委員から出た。この委員会内だけで決めて良いものか、ほかの委員会との兼ね合いもあるが、福祉環境委員会の中ではできるだけ、やり取りが市民に分かりやすいようにしてはどうかという意見があった。

○岡本委員

意味は分かるか。

○健康福祉部長

はい、説明をある程度したらどうかということだと理解した。

○小川委員長

簡単にでもしてもらったほうが良い。

○上下水道部長

議会運営委員会での決定事項でコロナ対応をという経緯だと聞いている。

○小川委員長

当委員会だけというのは、ほかの委員会とのバランスが良くないか。

○上下水道部長

5類に移行したので、議会から求められれば、特に執行部としてはコロナ前に戻しても差し支えはないと思う。

○岡本委員

とりあえず福祉環境委員会については、執行部報告事項は少し入り口の説明をし

てもらってから質問に入れば、聞いている人が何について質問しているか分かるが、何の説明もなく質問すると、聞いている人が分からないのではないかと私から言った。議会運営委員会の決定事項だが、それを踏まえてではなく福祉環境委員会については、執行部の説明は簡単でも良いので、ぜひお願いしたい。

○小川委員長

議会運営委員会では資料を読み込んでいる前提でやっているが、項目だけでも、「これはこういう内容だ」と言ってもらった後に、それについて質疑はないかと、最低でもそこまで説明してもらえたら。

○岡本委員

私が言いたいのは、カメラを設置してY o u t u b eに動画を公開しているのに、話の入り口が分からないようでは意味がないのではないかという話である。どういうことについて話し合われるのか、議員は当然読み込んでいるから分かった上での話ではあるが、入り口だけは説明があれば、そこに我々が質問していくという姿なら皆に分かるだろうと思う。

○市民生活部長

言われる趣旨は十分理解できるし説明もできるが、議会運営委員会を通さないとおかしなことになると思う。補足で簡単な説明をすることは可能。

○岡本委員

各々の会派へ持ち帰ってもらい、こういう話が出たと言ってもらおう。

○小川委員長

議会運営委員会の中で整理してもらって、できるだけコロナ前に戻してほしいということで進めていきたい。基本的には資料を熟読していることは前提で、今までどおりやっていきたいと思う。

3 その他

○小川委員長

執行部から何かあるか。

(「なし」という声あり)

委員から何かあるか。

(「なし」という声あり)

ないようなので、ここで執行部は退席されて構わない。

(執行部退席)

4 【取組課題】就労支援を含めた障がい者支援について（委員間で協議）

○小川委員長

前回の委員会での協議を踏まえ、皆から提出してもらった意見を正副委員長と事務局とで7項目に分けた。それに、「はじめに」と「おわりに」を付け加え、トータル9項目くらいに整理しながら最終的にまとめていければと思っている。皆から出された

所感等を中心に各項目に当てはめているのだが、これで良いかどうか、自分の所感の振り分け先が妥当かどうか、できれば1週間程度で見てもらい、これで良しとなれば、「はじめに」と「おわりに」と各項目の担当を決めてまとめていくように進めたらどうかと思う。この進め方について意見があればお願いします。

○村武委員

これからの作業としては、アからキまでの内容を皆で再度精査する、これを主にやったら良いのではないかといいことを皆で協議した後に、それぞれの担当を決めて文章化していくということか。

○小川委員長

一応皆が、聞き取りや視察を含めて感じられた、市に要望すべきことなどが各項目内に入っていると思う。したがって、新たにたくさん出された皆の意見の中から、市に申し入れること、制度的にこういうことを考えていくべきではないか、こういう仕組みづくりに早急に着手してほしい、などなどいろいろあると思うので、そこを担当された方が後でまとめるというか、整理してもらい、それを持ち寄ってまた協議して、より良くしていくのが良いと思ったのだが。総務文教委員会もそのような形で、各項目について各委員が担当して文章化して、それを皆で校正するような取組をされているように見受けた。そのように考えているのだが。

○村武委員

承知した。ただ、アがかなり大きいのでこれをまとめるのも結構大変ではないかと思った。ほかはそうでもないので大丈夫かと思うが。

○村木副委員長

おっしゃるとおりアが多くなったので、それぞれ名前の部分を見てもらい、自分の所感はアの中に一旦入っているが、実はエを意識した項目なのだといったように、特にアをもう少し分解してもらいたいのが正直な気持ちである。

一つ一つが付せんだとしたら、アのところにたくさん付せんがある。しかしこれは正副委員長と事務局とで勝手に分類したもののなので、自身の所感は、本当はこちらではなく別の項目だというものがないかどうかチェックしてほしい。

○村武委員

次の委員会までにそれをすると。

○小川委員長

できれば8日金曜日までにやってもらったら良いかと思った。各項目の担当者も決めておけば、8日正午までに付せんの貼り替えが完了すれば、それ以降、担当者にまとめてもらいたい。

○岡本委員

担当がまとめるのは次の段階で、今はアが大きいがそれ以外は何となくまとめられそうだが、貼り替えの作業結果が出てから次の作業に入るのか。それともアは置いておいて、それ以外はまとめられるなら誰かが担当してまとめてくれないかということなのか。例えばイは私がやるとすれば、自分なりに整理した状態を出し、それを皆

で諮るといった形を案内されたのだろうか。

○小川委員長

はい。

○岡本委員

ではむしろアは置いておいて、イ以降の担当を決めてもらって。

○村木副委員長

アだけではなく全体も見てもらいたい気持ちがあったのだが。

今の振り分けは本当に一方的なものなので、自分の所感はオに入っているが、オではなくキなのだとか。

○村武委員

担当は今日決めるのか、それとも次か。

○小川委員長

決めておいても良いし、次でも良い。

○岡本委員

先がないので、全体でという正副委員長の気持ちも分かるが、例えばそれも頭に入れながらイからキまでは少し整理されているから、そこだけまとめてくれないかという担当をされれば次のステップには行けるかと思ったのだが。もちろんそれが確定した提言文書ではなく、たたき台の文章を各自担当してくれと言われたのだと私は思っている。

○小川委員長

そういうことである。イからキまでは何となく、例えばイとオは岡本委員にお願いするといった形でやれば、とりあえずそこはできそうだと。

○岡本委員

例えばイなら何となく自分の中でできそうな気がする。問題点を踏まえた意見整理ができるかと思う。逆に投げ掛けてもらえばそれはそれでやる。全体を見てくれという気持ちも分かるが、そういうベースで案内があれば意識してやる。

○小川委員長

例えば今のような形で、これなら何となくイメージがあるし全体を見ながら、この所感はこちらへ取っても良いといったものがあれば。岡本委員はイなら構想があるから何とかできそうなので任せてくれとか、そういうのを先に決めておいても良いが。

○村武委員

今度の委員会までにそれを考えて担当が出すのか。

○小川委員長

そこまでは難しいのではないかと思う。

○村武委員

先ほどは、アのボリュームが多いのでこれをもう少し分解しようということになると、イ以降の項目に移る可能性がある。だからそれをまず決めて、それを見て担当ごとにまとめるということか。

○小川委員長

はい。あらかじめ担当を決めおいても良いし、振り分けが決まってから決めても良い。とりあえず1週間くらいで自分が出した所感でアに入っているものの中で別の項目に移せるものがあるかを早目に決めてもらい、それをベースに作業に移ろう。

○村武委員

アもどなたかが担当するのか。

○村木副委員長

はい。まずはアからキまでの分類が正しいか、思いどおりかを一次的にチェックしてもらい、次にもし今日担当を決めるなら決めても良いと思う。担当することになった項目の文章は8日でなくさらに先が良い。

○小川委員長

急いでといっても負担が大きいと思うので、今日は決められるところまで決めてもらえれば。

○村武委員

自分がやりたいところに手を挙げたら良いか。

○小川委員長

そういうやり方でも良い。

○村木副委員長

できれば二つ。

○岡本委員

私はイをやりたい。一番理解できる。

○村武委員

オは岡本委員の意見だけなので、ご自身でされたほうが良いかと思ったのだが。

○岡本委員

ではイとオ。

○村武委員

カは私がやりたいと思っているのだが。あとキも担当する。

○川神委員

ウをやる。

○小川委員長

エは柳楽委員にお願いしようか。

○村木副委員長

アは私が。それと「おわりに」を。

○小川委員長

では、「はじめに」は私がやろう。

○村木副委員長

最終的にそれを総括しないといけない。とりあえず8日までに自分のところの分類を再度見てもらって。

○小川委員長

では、変更がある場合には9月8日金曜日正午までに申し出てほしい。あとはそれに基づいて余裕があれば、それぞれ担当項目について検討してもらいながら、たたき台の作成に着手してほしい。たたき台を皆で見っていく段階はいずれにせよ10月に入ってからになると思う。

この議題については以上のようなことで、担当者も決めてもらい感謝する。皆の案をまとめて提言の形に進めていきたい。大変ではあろうが協力をお願いする。

皆からほかにないか。

(「なし」という声あり)

以上をもって福祉環境委員会を終了する。

[12 時 28 分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

福祉環境委員会委員長 小川 稔 宏